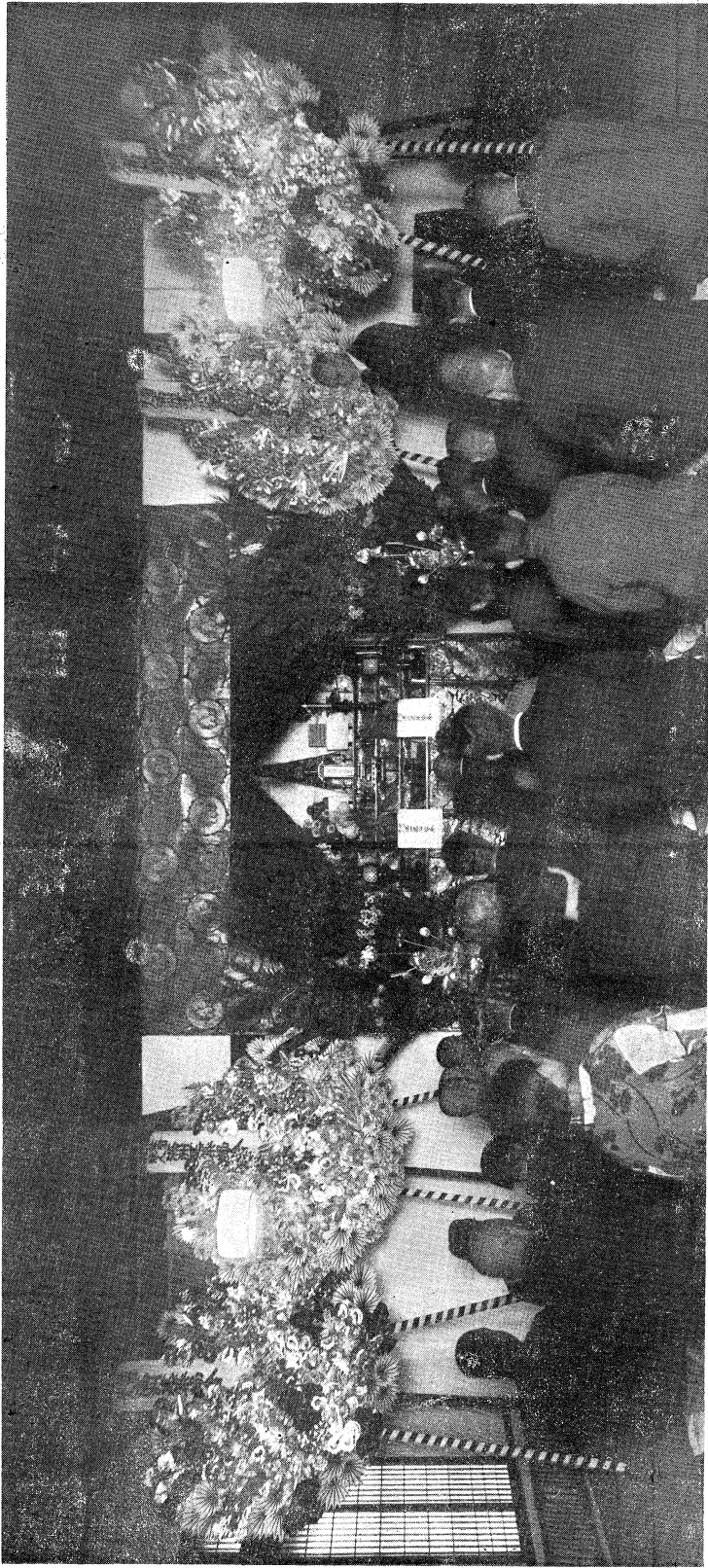


滿洲建築協會創立第20周年紀念式  
參列者一同紀念攝影



滿洲建築協會創立以來會員物故者  
慰靈祭

社 團 人 滿洲建築協會創立第20周年記念式

式 辭

我が滿洲建築協會ニ於テハ今年創立滿二十周年ヲ迎ヘタノデアリマシテ本日茲ニ記念式ヲ舉クルニ當リ來賓閣下各位ノ御臨席ヲ辱ウ致シマシタ事ハ本會ノ最モ光榮トスル所デアツテ深く謝意ヲ表スル次第デアリマス。

扱テ本年ハ神武紀元二千六百年ヲ迎ヘ朝野ヲ舉ケテ聖壽ノ無窮ト皇國ノ隆昌ヲ祝シ、畝傍山麓ニ於ケル遠キ昔ノ肇國ノ風姿ヲ偲ヒ奉ツテ其ノ記念式典カ取り行ハセラレタノデアリマス。我カ建築協會カ、ユクリナクモ此ノ聖年ニ廻リ合セテ、創立滿二十周年ヲ迎ヘタト云フ事ハ、誠ニ意義深キモノカアリ、僅カ二十年ノ歴史テハアルカ、其ノ過キ來シ方ヲ顧ミ且ツ將來ニ思フ驅ル時ニ、轉ク感慨ヲ催スモノデアリマス。

本會ハ大正九年十一月二日ニ其ノ結成ヲ見タノデアツテ、創立ノ當初ヨリ常ニ新進氣鋭ノ建築技術家ノ諸君カ中堅トナツテ眞ニ協力一致ノ實ヲ舉ケ、今日ニ至ル迄テ滿二十箇年ノ間、月刊雜誌ヲ繼續シ、時々ハ展覽會ヤ講演會ヲ開催シテ滿洲建築界ノ伸展ニ指針ヲ示シ、或ハ諸種ノ研究調査機關ヲ設ケテハ其ノ發展ニ貢獻シ來ツタト云フ點ニ就テハ、既住二十年間ヲ顧ミテ聊カ本會創立ノ意義ニ添フ事カ出來タト思フノデアリマス。

更ニ本日茲ニ二十周年ノ記念式ヲ舉クルニ當ツテ回顧セラル、コトハ、本會ノ創立當初ヨリ先輩各位ノ寄セラレタル甚大ナル功績デアリマス。

而シテ何時ノ時代ニモ監督官廳、滿鐵、滿洲國政府、市役所當局、其他在滿新聞社、各學會、協會、並ニ關係各組合、會社、等ノ支持後援カアツタノデアリマシテ、本會ノ事業遂行ハ其レニヨツテ其ノ都度相當ノ成績ヲ舉クル事カ出來タノデアリマス。又不斷ニ寄セラレタル會員各位ノ本會ニ對スル關心熱意、即チ其ノ勞力タルト財力タルトヲ問ハス、常ニ本會ノ使命達成ノ爲ニ與ヘラタル支持盡力ニヨツテ、本會ハ常々生氣ヲ保チ其ノ基礎ヲ固ウスル事カ出來タノデアリマス。

本會ノ現在役員トシテハ本日ノ記念式ニ際シ衷心ヨリ感謝ヲ捧クルモノデアツテ、過クル日ノ二十五日ニハ會員物故者ノ靈ヲ弔フ所カアツタノデアリマサルカ、他ニモ何等カ謝恩ノ爲メノ記念事業ヲ計畫シタイト思ウテ居リマス。

日支事變ハ聖戰四年ヲ閱シテ東亞ノ新秩序建設ニマテ進展シ、其レニ對應スル爲ニ我國ハ國內ノ各機關ヲ舉ケテ將ニ昭和維新ノ新體制ヲ整ヘントシテ居リマス。本會トシテモ勿論其ノ國策線ニ添ヒ、建築ト云フ技術技能ト其ノ計畫施工ノ分野ヨリシテ報國ノ誠ヲ盡スノ覺悟ヲ新クニシ、奉公ノ實ヲ舉クルノ熱意ヲ堅持セン事ヲ聲明シ、以テ本會二十周年記念式ノ式辭トスルモノデアリマス。

昭和十五年十一月三十日

社團法人滿洲建築會々長 岡 大 路

## 祝 辭

本日茲ニ滿洲建築協會創立二十年記念式ニ臨ミ祝詞ヲ述ブルコトヲ得タルハ余ノ欣幸トスル所ナリ。滿洲建築協會ハ大正九年大連市ニ創立セラレ爾來健全ナル發達ヲ遂ゲ、今ヤ二十年ノ歲月ヲ重ネ倍々伸展飛躍ノ途上ニ在ルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリ。夫レ建築ハ科學ト技術トノ綜合藝術ニシテ之ニ依リテ一國文化ノ消長ト方向トヲトスルニ足ルモノアリ。我大陸發展以來三十餘年、其ノ功業ヲ物語ル滿洲大小都市ノ美觀壯容ハ殆ンド建造物ニ依ラザルハナク、我國建築専門家ノ創意ト技能トハ克ク南北滿洲ノ氣候風土ニ適應セル建築方式ヲ案出シテ遺憾ナク、其ノ特色ヲ發揮シテ舊體ヲ變シ、雄然タル大陸式建築法ノ完成ヲ見ルニ至ル。此ノ間滿洲建築協會ハ滿洲ニ於ケル建築ニ關スル學者、技術家ヲ網羅セル重要團體トシテ斯道ノ研究向上ニ資スル各般ノ事業ヲ施行シ、且ツ各會員相互ノ和親提携ニ努力シ、直接滿洲建築界ノ進歩發達ニ寄與貢獻シタル所蓋シ多大ナリト謂ハザルベカラズ。

希クバ滿洲建築協會員各位其ノ豊富ナル知識ト體驗ヲ活用シ新情勢ニ順應シテ建築報國ノ爲メ益々奮勵努力セラレンコトヲ。

聊カ蕪辭ヲ述ベテ祝辭トス

昭和十五年十一月三十日 關東州廳長官 三浦直彦

## 祝 辭

社團法人滿洲建築協會創立第二十周年記念式ヲ舉行ラル、ニ當リ、祝辭ヲ述フルハ余ノ欣快トスル所ナリ。

惟フニ我カ國ニ於ケル建築ハ諸工事中最早クヨリ發達シ、其ノ精巧ナル技術ト獨特ナル美術的價値トハ我國ガ世界ニ有スル誇トスルトコロナリ。

翻ツテ當滿洲ニ於ケル建築ノ發達ハ文明ノ進歩ニ伴ヒ輒近建築ノ結構益々宏壯優美トナリ。諸設備ノ改善亦日ト共ニ加ハレリ。

抑モ本協會ハ廣ク建築技術者ヲ網羅シテ、其ノ連絡統制ヲ圖リ新智識ヲ紹介シテ技術ノ向上普及ニ努メ、我滿洲建築界ニ貢獻スルコト茲ニ二十年、時維紀元二千六百年ノ意義深キ邦家ノ盛儀ニ際シ、其ノ記念式ヲ舉ケラル、ハ洵ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ。

今ヤ世界の變動期ニ直面シ萬民翼賛高度國防國家建設ヲ目指ス新體制成立ヲ見ルノ秋、會員諸氏和衷協同一層本協會ノ機能ヲ發揮シ、以テ斯業ノ發達ニ盡瘁セラレンコトヲ。

一言蕪辭ヲ述ヘテ祝辭ト爲ス。

昭和十五年十一月三十日 南滿洲鐵道株式會社總裁 大村卓一



## 祝 辭

滿洲建築協會ガ大陸建設ニ關與シテ茲ニ二十年ヲ迎ヘ、本日其ノ式典ヲ舉行サレルニ至リマシタ事ハ誠ニ慶賀ニ堪ヘマセン。

大陸ニ初メテ足ヲ進メ此處大連ニ上陸スル人々ハ誰シモ一様ニ感スルコトハ、市街ノ立派ナ點テアルト聞キマスガ、之ハ市内ノ建築物ノ優秀ナルニヨルモノ大デアリマシテ、協會員諸氏ノ御努力ノ賜テアルト感謝スル次第デアリマス。

今ヤ大連ノミナラズ滿洲一圓ニ亙リテ都市カ漸次整備サレルニ至リマシタコトハ誠ニ建築家諸氏ノ功績ノ偉大サヲ物語ルモノト云ヒ得マセウ。

今後尙住宅問題ヲ始メ幾多ノ都市問題ニ就イテ御盡力願ハネバナラスト思ヒマスガ、尙一層ノ御協力ト御研究ヲ冀ツテヤミマセン。(口述在文責記者)

大連市長 別宮秀夫

## 祝 辭

社團法人滿洲建築協會ガ紀元二千六百年奉祝ノ意義深キ時ニ於テ、創立二十周年記念式ヲ舉行セラル、ハ洵ニ慶賀ノ至ニシテ、余偶々滿洲學術聯合會代表トシテ其ノ席末ニ列リ、聊カ祝意ヲ表スルノ機會ヲ得タルハ最モ光榮且シ欣快トスル處ナリトス。

顧ルニ建築協會ハ其ノ初大正三、四年ノ比、滿鐵ニ在勤スル建築家有志ノ會合ニ端ヲ發シ、滿洲一帯建築界ノ異常ナル進境ニ鑑ミ、大正九年協會トシテ創立セラレタルモノニシテ、正ニ滿洲ニ於ケル學問技術ノ團體トシテ最モ古キ歴史ヲ有スルノ名譽ヲ擔ハル、モノナリ。而シテ爾來茲ニ滿二十年、其ノ間夙ニ法人組織ヲ結成シテ會ノ根柢ヲ固メ、會館ヲ建造シテ建築材料陳列所、建築相談所ヲ開設シ、月刊會誌ノ發行、建築圖書ノ出版、設計圖案ノ懸賞募集、展覽會、講習會、講演會、座談會ノ開催等、悉ク是レ滿洲建築業發展助長ノ因タラサルハナク、其ノ包容スル處ノ支部、大連、奉天、新京、安東、撫順、哈爾濱、牡丹江ノ各地ニ亙リ一千五百六十有餘ノ會員ヲ有セリ。

今日全滿ニ於ケル建築ノ壯觀ハ一ニ本協會業績ノ反映タルヲ想ハシムルモノアリ。殊ニ建築カ國土計畫完備ノ基礎タルヲ考フル時、本協會ノ滿洲開發ニ貢獻シタル處極メテ大ナリト謂フヘク、是レ實ニ建築協會ノ爲ニシテ慶祝スヘキニ非スシテ、均シク學問技術ニ携ハル我等學術聯合會同人ノ以テ誇リトスルニ足ルモノアリト信ス。

翻ツテ想ウニ今ヤ我國ハ有史以來ノ大試鍊ニ直面シ、未曾有ノ時艱ニ際會シツ、アリ。而シテ此ノ難局ヲ克服スヘク先ツ高度國防國家ノ體制ヲ整ヘサルヘカラス。高度國防國家完成ノ基調